

全島緑化事業

第6期計画書
(令和7年～11年度)

令和7年2月
沖縄県全島緑化県民運動
推進会議事務局



1

I 総論 策定の趣旨



1 策定の趣旨

「100年先を見据えた緑の美ら島の創生」を目指すことを目的として、平成20年度に、「全島緑化県民運動推進会議」を設立した。本会議を推進母体として、「『一島一森』で花と緑の美ら島づくり」をスローガンに全島緑化県民運動を推進しているところである。

100年先の緑の美ら島を目指すためには、今後とも全島緑化事業を推進する必要があることから、「全島緑化県民運動推進会議」を継続し、全島緑化事業を推進している。

全島緑化事業計画については、全島緑化事業の施策の方向性や推進体制の役割等を示し、全島緑化事業が円滑に推進されるよう策定するものである。

I 総論 計画の位置づけ



▶ 沖縄21世紀ビジョンとは

沖縄の目指すべき5つの将来像と、その実現に向けた取組の方向性、県民や行政の役割等を明らかにした基本構想

▶ 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画とは

沖縄21世紀ビジョンの実現に向けた「基本施策」など示す。対象期間は令和4年度から令和13年度まで。

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画



将来像1. 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島

└ 基本施策(1) 世界に誇れる島しょ型環境モデル地域の形成

└ 施策展開① 人と環境に優しいまちづくりの推進

└ 施策③ 花と緑にあふれる環境づくり

県民一体となった全島緑化の推進については、**行政のみならず地域住民、企業等との共同による県民一体となった緑化を推進するとともに、在来種の活用を推進し、沖縄らしい緑地の創出に取り組む。**

3

I 総論 計画の位置づけ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

6 安全な水とトイレを世界中に



[水・衛生]

森林整備による水源林保全

8 働きがいも経済成長も



[経済成長と雇用]

花や緑を活用した地域振興
緑化に関わる雇用創出

11 住み継がれるまちづくりを



[持続可能な都市]

緑化による熱環境の改善
花や緑を用いた快適性向上

13 気候変動に具体的な対策を



[気候変動]

緑化によるCO₂吸収源創出

15 土の豊かさも守ろう



[陸上資源]

植林による森林再生
生物多様性の保全

17 パートナーシップで目標を達成しよう



[実施手段]

行政・民間・地域の協働
緑化技術の普及、指導

全島緑化の推進は“SDGs”の達成に貢献

Ⅱ 「一島一森づくり」で花と緑の美ら島づくりの施策展開

第5期計画の事業目標（令和2～令和6年度）

- うまんちゅに潤いと安らぎを与える
県民一体となった緑化の推進

課題

- 歴史的に重要な樹木等の保全と継承
- 沖縄の歴史・文化が感じられる緑化の取組

第6期計画の事業目標(令和7～11年度)

- 県民一体となった歴史・文化
を感じる沖縄らしい緑化の推進

5

Ⅱ 「一島一森づくり」で花と緑の美ら島づくりの施策展開

第6期計画（令和7～11年度）

- 1 花と緑のトロピカルスポット＆トロピカルロードづくり
空港・港湾、観光地、主要なアクセス道路等の緑化
- 2 花と緑あふれる地域・学校づくり
市街地、住宅街、公民館、学校、企業有地等の緑化
- 3 花と緑と香りいっぱいの名所づくり
花や緑の名所、名木に関する取組
- 4 企業と地域住民との協働による憩いの森づくり
民間企業・団体等による植林・育樹活動
- 5 沖縄らしい緑の保全と継承
樹木の病害虫対策、歴史・文化を感じる沖縄らしい緑づくり
- 6 緑化の普及啓発及び情報発信
関係機関による普及啓発・広報活動
- 7 行政が一体となった緑化関連事業の実施
緑を活用した公共事業の推進

Ⅱ 「一島一森づくり」で花と緑の美ら島づくりの施策展開

第6期計画(令和7～11年度)

5.沖縄らしい緑の保全と継承 【新旧対照表】

改正後	現行
<p>5 <u>沖縄らしい緑の保全と継承</u></p> <p>県内における名木の健全度評価等を行い、適切に管理することで、首里金城の大アカギや伊平屋島の念頭平松のような歴史的に重要な樹木等を継承していくとともに、備瀬のフクギ並木のような歴史・文化を感じる沖縄らしい緑づくりを推進する。</p> <p>道路、公園、公共施設等に植栽された樹木については、デイゴヒメコバチやアカギヒメヨコバイ等のほか、森林地域の松くい虫等による病害虫被害から保全する。</p> <p>緑化の生育環境を保全する際は、侵略的外来植物の抑制対策を行い、生物多様性に配慮する。</p>	<p>5 <u>生物多様性に配慮した沖縄らしい森林・緑地の保全</u></p> <p>沿道、公園、公共施設等に植栽された樹木について、デイゴヒメコバチやホウオウボククチバ等のほか、森林地域の松くい虫等による病害虫被害から保全する。</p> <p>また、侵略的外来植物の抑制対策を行い、生物多様性に配慮した緑化の生育環境の保全を図る。</p>